

拝啓

1.

この度、無事に支援を卒業させて頂く事となり
先生方には感謝の気持ちで一杯です。

小学5年生の冬、お友達とのトラブルから五月雨登校に
なりだした息子。早い反抗期なのか母へのやっ当たりは
ひどく「オマエのせいだ!! 学校を休む! 休んでやる!」とあてつけの
ように暴言を吐き私が困るのを横目にそれはエスカレート
していきました。それでも私は何とか自力で直したい! と
小湊みながら学校のカウンセラーさんに相談したりしましたが、
しっくりこず答えをさがしてました。小湊みながらも五月雨登校、
別室登校は続き、ネットでやっとさがしたペアレンツキャンプ
も私自身、勇気がです。もっとひどくなった時のお守りとして
(もうこの時点でとてもひどいのですが...) 耐えきれなくなったら
相談しようという思いでいました。今思えば、もっと早くに
ペアレンツへ SOS を出してれば!! と感じます。

この頃は頼れず本当に苦しく孤独な気持ちになりました。
中学校に入り息子もがんばって教室に入り、見守っていたGW明け
またしてもいけなくなりました。本人も自分を責め、その受けとめが
私でもできず暴言、暴力へとつながりもう限界だとやっと
ペアレンツへ相談。その時の息子への分析、私への優しい
お言葉、温かく力強い鈴木先生の対応は今でも鮮明に
覚えています。ずっと責められるような思いで自分の子育てを
まらがえたのではとつらく孤独な気持ちから「お母さん
心を休めて下さいね」という言葉に何度涙を流したか
分かりません。また的確にアドバイスしてもらい「友達との
トラブル」は学校を休むきっかけとはなったけれども
息子の性格や私の子上位としてしまったり先回りしていた
事の積み重ねが原因なのも分かりやすく私の心へ届くように
さとして下さり目からウロコでした。冷静に物事を捉える事が
出来なくなっていた私に先生は私の話を受けとめて
下さりどうしたら良いかを一緒に考えて下さり、私がツレず

変化していく事で息子が少しずつ変化していきました。

いつも息子が「信じられず」、どうして? どうして? とばかり

責めていました。が、まずは息子の話を聞く。本心は

どこにあるのかどっさり構える、私に出来る事は何か。

落ちつきを取りもどせるようになってきました。

私が息子を動かすのではなく、息子がどうして行きたいのか

「侍っ」という事を学ぶ時間はとてもかかりましたが

中1の秋からは別室へ。まだ教室へは遠かったですが

1歩1歩前を向く事が親子で出来てきました。

中2も同じような日々が流れ、中3についに自分の意思で

「戻る」と決め、教室へ。そこから「行っているからこそ」の

かべも多く、問題も続きましたが先生が常に適切に

指導下さり登校は安定してきました。

何より私が「息子を信じられる」「この子はら大丈夫!

きちんと前を見て考えているんだ」と思えるようになった事。

ここが大きな変化となりました。

私が先回りをしていた事で失敗する事、自分で考えて
決断する事、私が居ないと不安になる依存、思い通りに
ならない事で怒りを私にぶつけるDV夫のような息子... (涙)
こんな現実から私をきちんと正しい道へと導いて下さり
本当に本当に感謝しています。

息子も学校へ戻れた事 本当に喜んでいます。行くもんか!と
言っていたけれど"本心は"行きたかったんです。

今までもと戻すように色々な経馬実を毎日がんばっています。
親は見守ります。「家庭教育」を学べた事、本当に感謝
しています。これからはもっと家庭教育を心にとめていきたいです。

全力で支えて下さった先生に感謝です。とてもお忙しい毎日
だと思いますがどうぞご自愛下さい。不登校で苦しんでいる
親子がどうかどうか少しでもペアレンツキャンプの力で穏やかな
日常に戻れますよう願っております。

ありがとうございます。

敬具